

各位

上場会社名 ロイヤル電機株式会社
 代表者 代表取締役社長執行役員 佐藤 和義
 (コード番号 6593)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 鮫島 弘一
 (TEL 03-5424-1860)

平成25年3月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年11月9日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」に公表した業績予想及び平成24年5月11日付当社「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表した期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,980	127	148	△1,168	△277.89
今回修正予想(B)	4,882	△127	△103	△1,443	△343.32
増減額(B-A)	△98	△255	△252	△275	
増減率(%)	△2.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	5,561	343	390	341	80.77

平成25年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,147	123	179	△1,098	△261.39
今回修正予想(B)	3,020	35	79	△1,219	△290.15
増減額(B-A)	△127	△87	△99	△120	
増減率(%)	△4.0	△71.0	△55.4	—	
(ご参考)前期実績 (平成24年3月期)	3,584	236	284	232	55.06

修正の理由

(個別業績予想)

通期個別業績予想につきましては、世界景気の低迷、特に中国を含むアジア地域における設備投資の冷え込みに伴う主要顧客の経営環境悪化の影響を受けるなど厳しい状況となっているため、平成24年11月9日に公表いたしました平成25年3月期通期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の業績予想を見直した結果、上記の通り修正いたします。

(連結業績予想)

通期連結業績予想につきましては、通期個別業績予想の業績悪化に加え、海外子会社の売上が前回発表予想比で外部売上増により増加したものの、国内子会社の同予想対比での売上大幅減及びそれに伴う営業利益が赤字転換した影響等により、上記の通り修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成24年5月11日発表)	—	0.00	—	10.00	10.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
前期実績 (平成24年3月期)	—	0.00	—	10.00	10.00

修正の理由

平成24年11月9日付け「業績予想の修正に関するお知らせ」及び本資料に記載のとおり、売上高、利益とも期初の予想及び前回発表予想を大幅に下回る見込みとなりました。当初、当期(平成25年3月期)の年間配当金の予想を10円00銭と発表しておりましたが、これら業績予想の修正に伴い、本日開催の当社取締役会の決議に基づき、誠に遺憾ではございますが、期初予想を修正し、上記のとおり無配とさせていただきます。

4. その他事項

平成24年10月25日に当社取締役副社長を辞任した小野稔は、現在会社更生手続き中のワシ興産(株)の代表取締役副社長でもありましたが、当社のワシ興産(株)に対する貸付に関して、同社の返済能力に関する重要な事実を秘匿していました。この重要事実を当社に報告しなかったことは、当社取締役としての忠実義務違反であり、当社のワシ興産(株)向け1,200百万円の貸付金を毀損させることになりました。また、小野稔については、去る平成25年2月6日付けで破産手続開始決定がなされたので、当社は債権者として債権届出を行いました。なお、当社の元取締役会長でありワシ興産(株)の元代表取締役社長であった小野光太郎に対しても、同様の対応を予定しております。

また、平成25年1月25日付け「当社親会社である小野ホールディングス株式会社の会社更生手続開始の決定に関するお知らせ」の通り、小野ホールディングス(株)が会社更生手続を開始したことによる当社の業績に及ぼす影響はございませんが、小野ホールディングス(株)が会社更生手続を開始したことに伴い、同社が保有する当社株式(当社議決権の69.42%)は、同社更生管財人が管理することになりました。このたび管財人とM&AアドバイザーファームであるGCAサヴィアン(株)との間で当該当社株式の引受け先を探す目的でフィナンシャル・アドバイザー契約が締結されたと管財人から報告を受けました。今後は管財人が中心となって当社スポンサーの選定がなされる運びとなりましたので、正式に新スポンサーが決まり次第、公表させていただきます。

以上